様式４　一般質問通告（会議規則第６１条、運用基準８４）

令和８年11月19日

桑折町議会議長　原　賢志　様

桑折町議会議員

２番　齋藤松夫

一般質問通告書

桑折町議会会議規則第６１条第２項により次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
１、義務教育学校設置方針決定に至る経過等について	（１）９月定例会で、令和７年１０月２９日、教育委員会として義務教育学校設置方針を決定に至る過程において「同年１０月１５日午後１時３０分から、同１７日１６時からの２回にわたり、教育長室において、教育長、課長、係長、担当職員で検討を行った」との答弁を九月定例会でいただいた。 この答弁は３日前の答弁を修正しての答弁であったが、３日前答弁の段階では２回の会議開催という事実を失念していた結果と理解してよろしいか伺う。 （２）会議招集者はどなたであったか。文書管理規定に基づく会議記録文書は存在するか否かを伺う。 （３）この会議は小中学校のあり方検討委員会の提言（同年１０月８日）を受けての重要な会議である。 この協議は、同提言が義務教育学校一択ではなく「義務教育学校や小中一貫校といった統合のかたち」という表現で「二つの選択肢を提示」したとの前提での協議であったか。それとも提言は「義務教育学校ありきの提言」と理解しての協議だったのか。どちらであったかを伺う。	教育長
２、水道料金対策を踏まえた第５次水道拡張計画	（１）基本構想・基本計画策定事務は、第５次拡張事業に対する国の財政支援を受けるための県との協議が可能な段階まで進んでいるか否かを伺う。	町　長

様式４　一般質問通告（会議規則第６１条、運用基準８４）

策定について	（２）９月定例会答弁に照らせば、県との協議は行われて然るべきと考える。協議はどこまで進んでいるかを伺う。 （３）国の財政支援を受けられる最も有望なメニューの絞り込みがなされたか。また９月定例会で提言した「民営簡易水道の公営化＋上水道と公営簡易水道の統合方式」の検討は行われたか否かを伺う。	
３、本町のクマ対策と政府の「クマ被害対策ロードマップ」について	（１）政府は本年３月、「クマ出没時の対応が確立され、人とクマとのすみわけを実現し、国民の命と暮らしを守る」ことを「めざす将来像」として掲げた。 これは緊急銃猟等々の緊急対策を含む当面の対策と共に、人とクマのすみわけ実現をめざす長期展望に立つ対策が必要であることを教えているものである。 令和８年度においてこのような観点を踏まえ対処しているかどうかを伺う。 （２）「クマ被害対策ロードマップ概要版」の冒頭で、「２０３０年度まで、都道府県や市町村と連携しつつ、パッケージに含まれる施策の体系的実施で、継続的かつ効果的な推進を図る」と述べているが、これを踏まえれば、本町のクマ対策もこのような方針に基づいて具体化していくことが必要と考える。所見はどうか伺う。 （３）当面の対策として諸施策を講じその成果も上げているものと承知するが、「人とクマの住み分け実現」に向けての対策はどのように進める考えか、以下２点について伺う。 ①現在すすめている緩衝帯（飛び地型）設置をベルト地帯型緩衝帯に発展させる構想の検討経過の有無を伺う。 ②柿の木伐採とセットで、同様の観点・手法でクマのエサとなりうるドングリがなる広葉樹伐採を検討してはどうか。所見を伺う。	町　長

様式４　一般質問通告（会議規則第６１条、運用基準８４）

４，桑折町総合計画（中期基本計画）における公立藤田病院の位置づけと町負担額について	（１）公立藤田病院を地域医療の中核として位置づける町方針は不変であると理解してよろしいか伺う。 (2) 令和７年度決算における公立藤田病院負担金（特別交付税分）29,68 万 4 千円の負担金額算出根拠を伺う（資料提出に基づく答弁を求める）。 (3)　同　特別負担金（一般財源）３千万円に係る構成市町間での負担割合の根拠及びその変更協議経過（組合設置時から現割合への変更）を伺う。	
５，桑折町総合計画における住民自治協議会の位置づけ及び第 3 次生涯学習推進計画について	（１）町総合計画（中期基本計画）における住民自治協議会の位置づけ及び同会の存廃に関する町方針について伺う。 (2) 方針変更に関する検討経過を伺う。 (3) 第 3 次生涯学習推進基本計画策定後における生涯学習推進会議設置要項に基づく、同推進会議開催経過及び協議事項を伺う。	町　長 教育長